

# 新 里海かわら版

長浜・御畳瀬・浦戸の地域おこしだより

VOL.

6

2022年6月発行

特集

## カダヤをシゲンに

桂浜花海道から  
望む太平洋

どこまでもダイナミックな水平線が続く太平洋。海は自然の厳しさを伝える側面がある一方、私たちの生活にかけがえのない恵みと、心やすらぐ風景をもたらしてくれます。

# カダヤをシガンに



よしひろ たくお

**吉弘 拓生**さん

福岡県出身。一般財団法人地域活性化センター室長。これまで林業協会職員、うきは市職員、群馬県下仁田町副町長等を歴任。住民協働の地域づくりや商品開発に実績。



よしとみ しんさく

**吉富 慎作**さん

山口県出身。NPO 法人土佐山アカデミー事務局長。土佐山地域でのイベントや、土佐山をフィールドにした企業研修の実施等を通じ、交流人口づくりに取り組む。

皆さんは「地域の課題」と聞いた時、どう思いますか？

「身近なことだけど、難しそう…」  
「どうにかしたいけど、何をすればいいか…」  
そう感じる方がほとんどではないでしょうか。

今回、全国で様々な地域の活性化に取り組み、「こうちみませ楽舎」にも携わるお二人に、「課題」を「資源」に変える考え方を伺いました。

皆さんの中で「課題に向き合うヒント」が見つかるかもしれません。

**Q** お二人のこれまでの活動を教えてください。

**吉富** 僕は普段、土佐山地域をフィールドに、地域課題と自分の特技を掛け合わせ、山に人が巡る仕組みを作っています。「竹が生えすぎて困る」という課題に対し、竹を使った「世界最速

そうめん流し」を企画したり。そして興味を持った人が山を訪れるように、アイデアで地域に人を巻き込む活動をしています。

**吉弘** 私は九州の実家が製材所をしていて、幼い頃から林業の衰退を目にしている。山を観光などの新しい切り口で、世の中に打ち出したらいいのにと感じていました。そこで、林業協会に就職し「森林セラピー」を企画。今は地域活性化センター職員として自治体のまちづくりサポートのために全国を駆け巡っています。

**Q** お二人と長浜・御畳瀬・浦戸地域との関わりは？

**吉富** 令和2年度から始まった、地域おこし学校「こうちみませ楽舎」で、講師やコーディネートを担当しています。地域おこし学校というからには、地域課題やニーズに沿った内容であることが大切。そのため、地域の方ともっ

といるいろいろお話をしたいですね。

**吉弘** 私も同様に、こうちみませ楽舎の運営サポートを行ってきました。今年度はプレミアムクラス講師として、受講生のアイデアをカタチにするサポートをします。

**Q** お二人にとって地域づくりとは？

**吉富** 「地域で役割を持つ人を増やす」ことだと思っています。草刈り、消防団、人を集める役など、一人ひとりが自分の役割を果たすイメージ。僕は自称「オモシロガリスト」。課題があった時に「これ絶対面白いですよ！」って言い出す役割です(笑)

**吉弘** 地域づくりは、暮らしの中にあって本当は身近なものなのに、なぜか少し遠いもののようなイメージもある。もう少し、ワクワクが感じられれば良いなと思います。

**Q** 地域課題にどう向き合えば？

**吉富** 3地域には、一般的に「課題」とされるものもあるでしょうが、僕は「課題が資源」と思っています。課題大国＝資源大国と考えると、多くの資源が揃っているとも言えます。

**吉弘** 今、地域が抱える悩みは、日本

中で起きていることでもあるんですよね。それらの課題を、価値やワクワクに変えていけるかがポイントになるんじゃないでしょうか。「〇〇対策」の中で自分たちが主体性を持って、やりたいことを「推進」する形が生まれれば、より面白いかなと。

**吉富** 常識の枠を外して発想すると…例えば、車が通れない細い道やトンネルを、本気の「スポーツ鬼ごっこ」のフィールドにするとか。そう考えると、ネガティブなことが一気にポジティブに変わっていく瞬間があります。課題を、他の人も楽しめるようなものに変換していく。考え次第で、地区それぞれの課題と魅力は一体のものになると思います。

**Q** 「課題を面白がる」コツは？

**吉富** 例えば、「世界最速のそうめん流しを棚田の斜面でやろう」と提案しても、地元の方は「何が面白いの？」という感じでした。でも一度やってみると「孫がすごく喜んでいたら」「次から水源はここから引くといい」といながら協力してくれるようになって。

# 「こうちみませ楽舎」とは？

令和2・3年度の取り組みの様子



長浜・御豊瀬・浦戸地域をフィールドに、地域課題解決と人材育成を目指す、学びと実践の学校です。

開催予定 ※①②両方の受講も可能

①地域課題をテーマに学び、実践する

**通常教室** (全6回・隔週開催 / 8月募集・10月開始)

②受講生自身のアイデアをカタチにする

**プレミアムクラス**

(全7回・月1回開催 / 6月募集・7月開始)

過去の様子はホームページから▶



僕の思う面白さが伝わったんだと思います。「とりあえずやってみる」のも大事なかな。

**吉弘** 「楽しい」の基準は人それぞれで、立場によって違ったりしますね。地元で当たり前前のことも、外の人にとっては「楽しい」になったり。

**吉富** 何でも、やる前から理解されるとは限りません。でも、どうせやるなら面白い方がいい。「**こういう風に面白がってみませんか？**」とやってみたら、ちよつと状況がプラスになるかも。その感覚でやるのが良いかなと思います。

**Q** 地域で活動する際、大事にしていることは？

**吉富** 地域をフィールドに活動するなら、その場所や住む人の考え方を尊重することが大前提。でも、自分が楽しくないことをやるのはモチベーションが続かない。だから、**地域ニーズと自分のやりたいことの接点**を見つけることが第一歩目ではないでしょうか。

**吉弘** 企画や実行の際には、地域内外の誰かと協力して動くこともたくさんあると思います。その時に、**やりたいことを本音で、自分の言葉で伝えられるか**どうかも、大切な視点ですね。互いの本音が共有されていない状態で、一緒にやっていくのは難しいですから。

**Q** こうちみませ楽舎のこれからをどう考えますか？

**吉富** 開校から2年経って、だんだん温まってきた気はするけど、まだ「**燃**」っている感じがなと思います。例えば「空き家を活用できる状態にするため、なにかできないか」と思う人がチームを作って活動するとか、そんな「**自ら燃える人**」たちが現れることを期待しています。

**吉弘** 旧御豊瀬小学校が「地域のことを学ぶ場所」として再生すれば、面白いし珍しい事例ですよ。

**吉富** 今年は、3地域の人の関わりがもつと増えればいいな。授業以外でも繋がって「あの人がたつたら、新しいことができそう」と、特技を持ち寄る仲間になれたらと思います。

**吉弘** 受講生が学ぶだけでなく、行動を起こす場所になると、さらに変わっていくと思います。**あの場所に行けばヒントをもらえる、人と繋がれる**。そんな場所になれば、一人ひとりの中にある小さなアイデアだって、いずれ形にしていけるのでは。

ーありがとうございます。こうちみませ楽舎オープンスクールでは、お二人の対談をさらに深掘りします。お楽しみに！



## 地域おこし学校「こうちみませ楽舎」 オープンスクール開催&プレミアムクラス受講生募集

### ①オープンスクール

日時：6月4日(土) 9:30～12:00

場所：旧御豊瀬小学校

地域おこし実践者をゲストに迎えたトークセッションやこうちみませ楽舎の振り返りを実施。お気軽にどうぞ。

### ②プレミアムクラス

開催期間：7～1月(月1回・土曜) 全7回

募集期間：6月1日～30日まで

あなたのアイデアをカタチにしてみませんか。経験豊富な講師が実行までサポート！やる気のある方、募集中。

申込  
方法

- 電話(地域活性推進課 TEL 088-823-8813)
- 地域活性推進課ホームページ 申込フォーム
- 所定申込用紙(ホームページよりダウンロード可能)に記入の上、メール・FAX・持参いずれか。

高知市地域活性推進課  
〒780-8571 高知市本町5丁目1番45号  
Mail kc-011700@city.kochi.lg.jp  
FAX 088-823-9382

ホームページはこちら▶



# 高知市初！地域おこし協力隊が着任しました

- 令和4年4月から、高知市初の「地域おこし協力隊」が2名着任しました。
- 2人のミッションは「長浜・御豊瀬・浦戸地域の振興」。地域活動や行事への参加、賑わいづくりなど幅広く取り組みます。ぜひお気軽にお声がけください！

## 協力隊に3つのQ



地域おこし協力隊  
よしだ ともかず  
**吉田 友一さん**

### Q 自己紹介を！

京都府から移住してきました、吉田友一です。  
移住初日から、高知の「食」を食べ尽くそう！と奔走中です。

### Q これまでの経歴を教えてください！

大学生の時に、TVドラマ「特捜戦隊デカレンジャー」に出演。  
現在は、協力隊の活動と並行して鍼灸師（はり・きゅう治療）としても働いています。

### Q 協力隊としての意気込みを！

まずは地域の皆さんとお話しし、関係性を築きたいと考えております。  
地域を盛り上げる一端を担えるよう、主体性と協調性を持って仕事に打ち込んでいきますので、どうぞよろしくお願いいたします！

### Q 自己紹介を！

大阪府から移住してきました、伊藤明子です。  
関西育ちで、人と接することが大好きなので、気軽にお話しただけると嬉しいです。

### Q これまでの経歴を教えてください！

好奇心旺盛で、学生の頃は海外留学を経験。  
結婚後は、地域の自治会や子ども会で、様々な交流イベントを企画・運営しました。

### Q 協力隊としての意気込みを！

地域の方々との連携を大切に、賑わいづくりに取り組んでいきたいと考えています。  
関西出身としては「笑い」で元気になることも大事にしたいので、子どもから大人まで笑顔になれる企画を、皆さんとともにできれば嬉しいです。



地域おこし協力隊  
いとう あきこ  
**伊藤 明子さん**



- 着任からの主な活動
- ①長浜地区の「神田祭」に参加。貴重な機会をいただき、感謝です。
  - ②浦戸小学校で授業をさせていただきました。小学生の皆さんの「考える姿勢」に、非常に感銘を受けました。
  - ③桂浜の「龍馬に大接近」にて。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします！

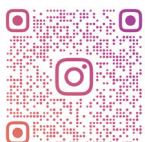
## お知らせ



インスタグラムで発信中  
**こうち里海かわら版**

長浜・御豊瀬・浦戸地域の魅力や、活性化の取り組みなどを、地域活性推進課のインスタグラムアカウント「こうち里海かわら版」で発信しています。広報ボランティアの方々や地域おこし協力隊と一緒に、地域の「いま」をお伝えしていきます！

以下のQRコードを読み取って、ぜひフォローしてくださいね。



## さとうみ編集室

■はじめまして！高知大学農学部  
畑田です。高知大学の先輩の紹介で、広報ボランティアに興味を持ち、この度新しく活動に参加することとなりました。自分の出身は茨城県なので、高知の環境はとても新鮮で、毎日発見があります。長浜・御豊瀬・浦戸地域の魅力を大学生ならではの視点から発信していきたいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願いいたします！



畑田 颯さん